

北海道胆振東部地震復興特別委員会 調査資料

(令和5年8月2日)

(事務調査)

- ① 新町災害公営住宅の被害について、その対策について

建設課都市施設グループ

1. 新町災害公営住宅の概要

団地名：新町のぞみ団地

竣工：令和2年10月22日

構造規模：木造平屋長屋形式（2LDK）－4棟16戸

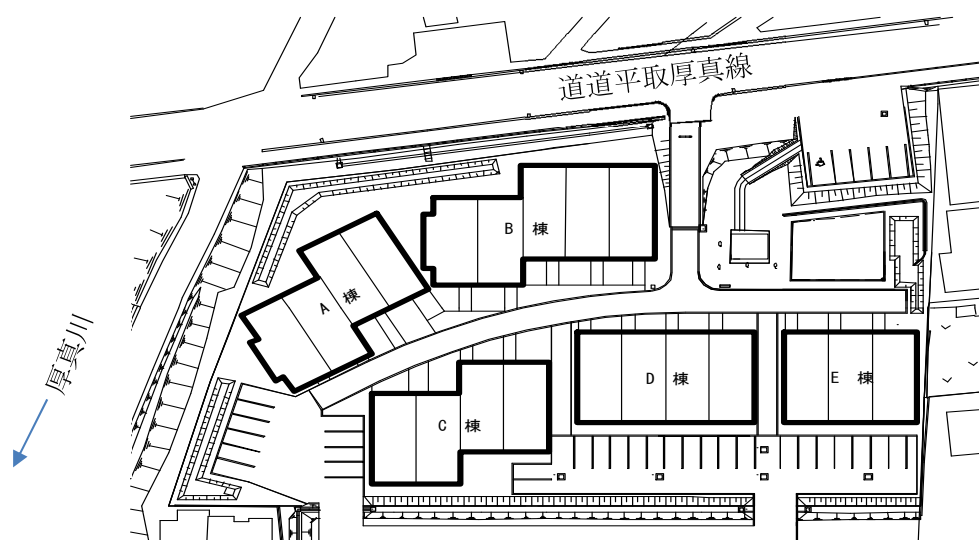
木造2階建長屋方式（3LDK）－1棟4戸

北海道ユニバーサルデザイン公営住宅整備指針に基づき設計施工

工事費：373,213千円

入居世帯数：20世帯

新町のぞみ団地平面図



2. 被害の状況とその対策

- (1) 令和3年1月下旬から2月中旬の暖気と降雨により、融雪水が裏口ポーチに流入、また凍上により玄関スロープの平板舗装に不陸が生じた。

対応済み)

ポーチ外側の地盤面切下げ、またはポーチ外縁に浸透砂利を敷設。更に雨だれの跳ね返り防止のため裏口に建具、雨樋を設置。

- (2) 雨漏りが3棟6戸で発生した。

対応済み)

屋根の板金接合部や窓枠のシーリングを施工者による手直しで対応。

今後の対策)

冬期のすが漏りが多発した A,B 棟について、再発防止のため屋根面の防水塗装を計画する。

- (3) 令和4年8月15～16日の大雨により、地下水が上昇し、住宅基礎ピットに水が侵入した。

対応済み)

地下水の上昇を抑制するため、浸透池の掘り下げを実施済み

今後の対策)

抜本対策として暗渠排水及び流末排水の整備を計画。その他表面排水対策として、通路部の一部を切り下げ計画。

- (4) ボイラー設備の不調が6件発生。

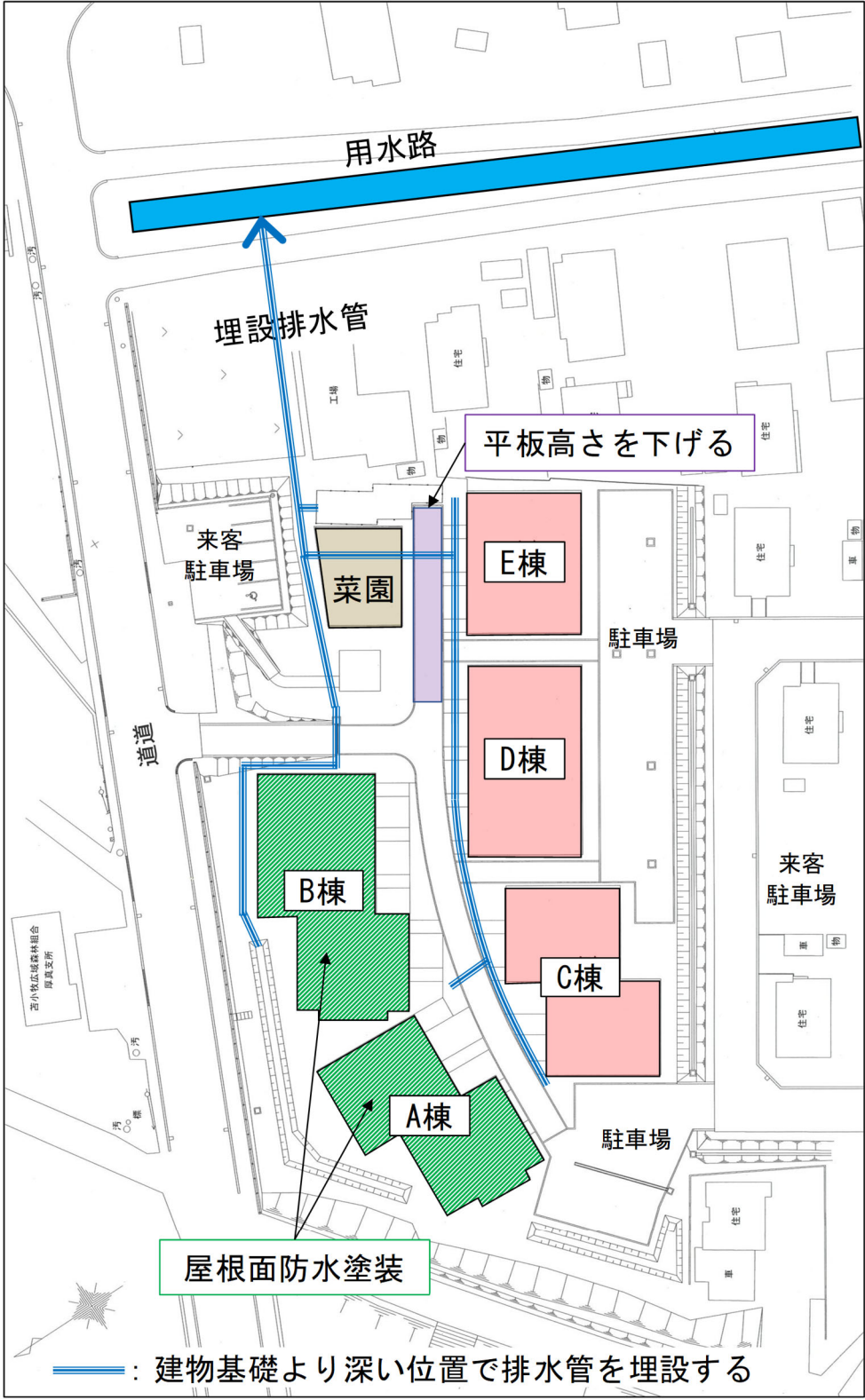
対応済み)

ボイラー設備の一斉点検を実施済み。

今後の対策)

冬季前に床暖房の試運転により正常確認する。

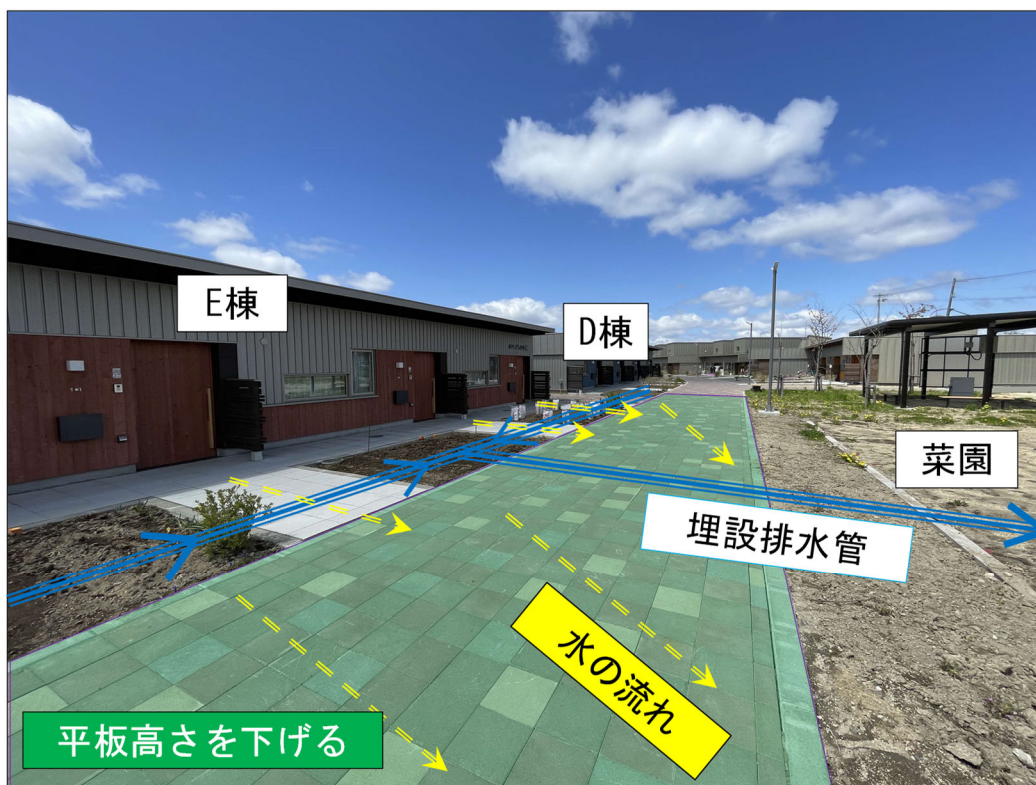
公営住宅維持補修事業



——— : 建物基礎より深い位置で排水管を埋設する

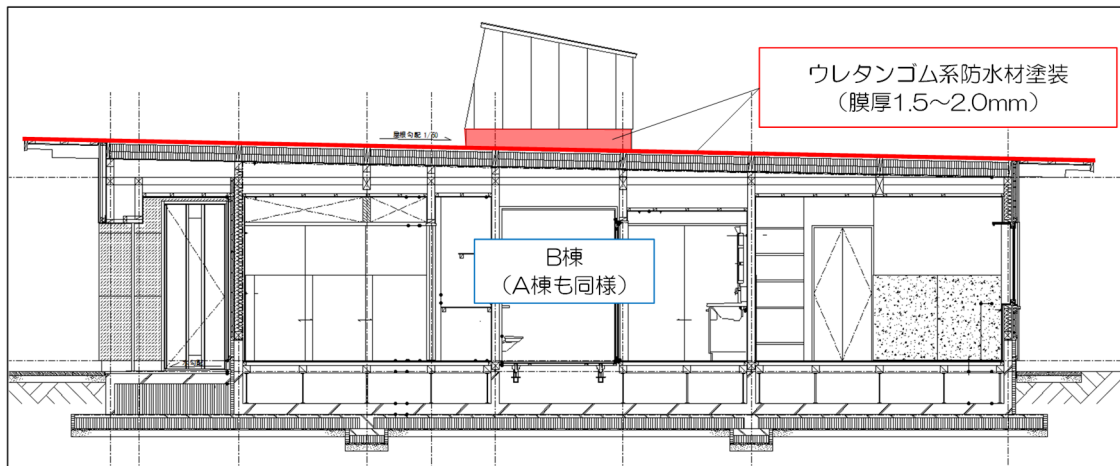
【新町のぞみ団地 配置図】

公営住宅維持補修事業

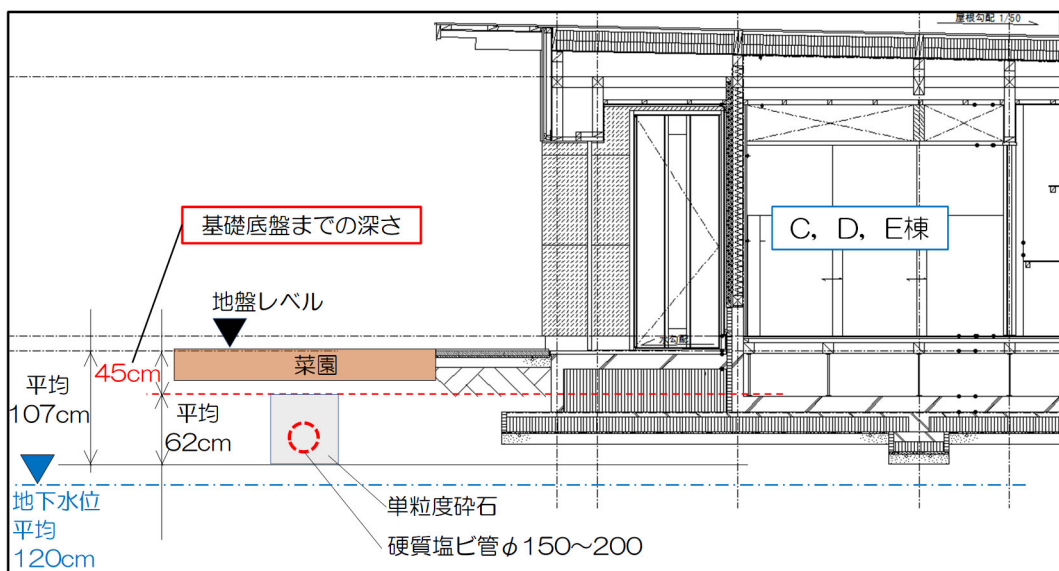


【イメージ図】

防水塗装断面図



暗渠排水断面図



通路切下げ断面図

